

【様式例 3】

財産目録の明細書

A 流動資産

現金

種 類	金 額	拠出（寄附）者氏名
	円	

預 金

預 金 先	種 類	口 数	金 額	拠出（寄附）者氏名
**銀行 **支店	普通預金	1	10,358,418 円	増谷 学
小 計			10,358,418 円	

医 業 未 収 金

種 類	月 分	評 価 額	拠出（寄附）者氏名
保険未収入金	**月分	14,605,260 円	
小 計		14,605,260 円	

医 薬 品 等

品 名	規 格 数 量	評 価 額	拠出（寄附）者氏名
		円	
小 計		円	

B 固定資産

1 有形固定資産

土 地

所 在 地	面 積	評 価 額	拠出（寄附）者氏名
	m ²	円	

建物付属設備

所 在 地	延 面 積	評 価 額	拠出（寄附）者氏名
	m ²	円	

医療用器械備品

品 名	規 格 数 量	評 価 額	拠出（寄附）者氏名
*****		2,185,601 円 円 円 円	
小 計		2,185,601 円	

その他の器械備品

品 名	規 格 数 量	評 価 額	拠出（寄附）者氏名
		円	
		円	
小 計		0 円	

2 無 形 固 定 資 産

電 話 加 入 権

局 番	番 号	評 価 額	拠出（寄附）者氏名
		円	

3 そ の 他 の 資 産

そ の 他

品 名	規 格 数 量	評 価 額	拠出（寄附）者氏名
医師会入会金		512,500 円	

（作成上の注意）

- 現金以外の財産の拠出（寄附）について、詳細に記載すること。
（主な現物拠出（寄附）財産の種類と評価額）
預金・・・・・・・・・ 残高証明の額の範囲
医業未収金・・・・・・ 前年実績等からの推計値
医薬品、材料等・・・・ 帳簿価格
不動産、借地権・・・・ 不動産鑑定評価書又は固定資産評価証明書の額
建物（その付属設備を含む）・・・・・・・・・ 減価償却した簿価
医療用器械備品（その付属設備を含む）・・・・ 減価償却した簿価
その他の器械備品（その付属設備を含む）・・ 減価償却した簿価
電話加入権・・・・・・ 時価
保証金等・・・・・・・・・ 契約書の金額（契約書に償却に関する条項がある場合は償却後の金額）
- 2以上の施設を所有（開設）する場合は、それぞれの施設ごとに区分し、小計を付すこと。
- 有形固定資産（非償却資産を除く。）については、取得原価から減価償却累計額を控除した価額を評価額とすること。その際、各資産ごとに取得原価と控除する減価償却累計額を示す書類を添付すること。（確定申告時に使用する電算様式を使用しても差し支えない。）
- 社団である医療法人を設立する際の現物拠出について、その価額の総額が5百万円以上の場合は、現物拠出財産の価額が相当であることについて、弁護士、弁護士法人、公認会計士、監査法人、税理士又は税理士法人の証明（現物拠出財産が不動産である場合にあっては、当該証明及び不動産鑑定士の鑑定評価。）が必要であること。